

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 2 月 29 日作成)

小委員会名	建築計画技術小委員会		主 査 名：門内輝行 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (設計計画運営委員会)		委員長名：松村 秀一 主 査 名：宇野 求
設 置 期 間	2010 年 4 月 ～ 2012 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>21 世紀を迎え、建築のあり方に大きな変化が生じている。その中で、環境共生、都市再生、ユニバーサルデザイン等の新しいニーズに対応した設計計画の実践、社会的制度、高度な実務教育の推進などに対する要請が高まっている。2008 年から計画技術小委員会で検討してきた成果を踏まえて、次の課題に取り組む。</p> <p>① 建築計画の学理体系、設計計画の方法・知識を整備する。</p> <p>② 建築をとりまく社会制度（建築士法、建築基準法・都市計画法など）と建築計画のあり方について提言する。</p> <p>③ 研究と実践をリンクする様々なツールや仕組みを探求する。</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：門内輝行（京都大学） 幹事：岸本達也（慶應義塾大学） 委員：大月敏雄（東京大学）、大野隆造（東京工業大学）、岡部明子（千葉大学）、岡本和彦（東京大学）、加藤彰一（三重大学）、郷田桃代（東京電機大学）、近角真一（集工舎建築都市デザイン研究所）、千葉政継（アークス計画研究所）、千葉 学（東京大学）、野口秀世（久米設計）、吉村英祐（大阪工業大学）</p>		
設置 WG (WG 名：目的)			
2011 年度予算	190,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料 等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セ ミナー・研究会・見 学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	建築計画技術の視点からみた東日本大震災への対応について課題を整理し、建築計画委員会に提出した。
目標の達成度 (当初の活動計画と 得られた成果との関 係)	<p>1. 建築を多種多様な領域・実践の結節点とみなす「開かれた建築計画」のあり方を模索するために、計画・設計・運営を含むトータルなプロセスについて、委員を中心に話題提供していただき、今後の計画技術のあり方を探求した（東日本大震災への対応、病院・仮設住宅地の建築計画、配置研究など）。</p> <p>2. 事例研究をふまえて、生活の豊かさを追求する知識社会に対応した建築計画の学理体系、設計計画の方法・知識の整備方法を探求し、次期委員会で検討すべき課題を整理した。</p>
委員会活動の問題点 ・課題	<p>1. 2011 年度の前半期は諸般の事情で委員会の開催回数が少なかった。</p> <p>2. 次期委員会では、今期の成果をふまえて公開のシンポジウム／研究会を開催すると共に、HP を公開し、社会的メッセージを発信する予定である。</p>